

シルバーウィークの茶臼岳 (2015年9月25日)

平成27年9月20日～21日に南アルプス茶臼岳に登ってきました。好天が予想された大型連休だったので、山小屋は空前の混雑でした。小屋の晩飯は4交代(約80人)で廊下に寝る人もでるほどでした。また、テント場もいっぱいですが普段はテントを張らない小屋や倉庫まわりもところ狭しと張ってありました。



ウソツコ沢小屋周辺にはセキヤノアキチョウジが咲いていました。



茶臼小屋に近付くとゴゼンタチバナが赤い実をつけていました。



稜線に出るとシラタマノキが咲いていました。



午後3時頃の茶臼小屋のテント場です。カラフルなテントがいっぱいです。



21日の朝の富士山です。適度に雲があった方が朝日は綺麗です。



横窪峠の下の岩場にオコジョがいました。すばしっこくで暗いので良い写真が撮れません。

[シルバーウィークの茶臼岳を詳しく見る](#)

平成 27 年度建設産業構造改善のつどい (2015 年 9 月 17 日)

平成 27 年 9 月 17 日(木)、静岡市産学交流センターにおいて、静岡県と(一社)静岡県建設産業団体連合会の共催により、平成 27 年度建設産業構造改善のつどいが開催されました。当協会からは富士市の(有)常華園の渡邊正俊氏が平成 27 年度静岡県優秀施工者褒状を授与されました。



村松篤県交通基盤部理事挨拶



木内建産連会長挨拶



会場全体



褒状の授与



受賞された(有)常華園の渡邊正俊氏



受賞者の皆さん

[平成 27 年度建設産業構造改善のつどいを詳しく見る](#)

建産連ふれあいイベント開催 (2015 年 9 月 7 日)

平成 27 年 9 月 5 日、静岡市葵区の青葉緑地葵スクエアで県産連の「まちづくり 2015 ふれあいイベント」が開催され、当協会も参加し花苗(アイビー、ドラセナなど観葉植物やペパーミント、レモンバームなどハーブ)や緑化関係パンフレットを配布しました。会場ではほかに不思議なコンクリート実演、パワーショベル実演、風船配布など実施した。



[建産連ふれあいイベント開催を詳しく見る](#)

静岡県交通基盤部との災害協定に基づく出動要請・応諾訓練 (2015 年 8 月 11 日)

当協会は平成 27 年 3 月 30 日に静岡県と「災害または事故における応急対策活動の協力に関する協定書」を締結しました。この協定に基づく出動要請・応諾の手続きを習熟することを目的に訓練を実施します。具体的には平成 27 年 8 月 10 日から 9 月 7 日までの間に 8 土木事務所と 4 港湾管理事務所から出動要請がメール送信されるので、応諾書をメールで返送するものです。

[静岡県交通基盤部との災害協定に基づく出動要請・応諾訓練を詳しく見る](#)

静岡県森林・林業研究センター振興協議会第 28 回総会 (2015 年 8 月 10 日)

平成 27 年 8 月 7 日(金)、浜松市浜北区にある森林・林業研究センター会議室において、第 28 回総会が開催されました。当協会からは専務理事が出席しました。議事は、特に、意見、質問もなく原案どおりに承認されました。総会終了後、森林・林業研究センター成果報告として大場上席研究員が「森林づくり一体型シカ管理の必要性」、特別報告として静岡森林管理署の松坂主任森林整備官が「富士山国有林におけるシカ捕獲事業について」、記念

講演として羽澄俊裕氏が「野生動物問題の最前線、特にニホンジカとツキノワグマの問題と対策について」がありました。いずれも野生動物が我が国の山野で増え続け、深刻な被害を農林業や生態系に与え、効果的な対策が急務だというものでした。



総会には各森林組合、関係団体などが出席しました。



榛村会長の挨拶でこの会をやめたらどうかという意見もあるが、「本県らしい技術開発を応援することは重要であるから続けている」とのことでした。



研究成果報告からは各農林事務所、自然保護課の職員らが加わり、会場はいっぱいになりました。



大場上席研究員は森林整備(間伐)をすると下草が増えて、シカが増加する。シカ対策と一体となった森林づくりの重要性について報告しました。



松坂主任森林整備官は富士山麓のシカ対策として、シャープシューティングや忍び猫が有効であるが、これを公共事業として発注している事例を報告しました。



羽澄氏はわが国では野生鳥獣が増え続け、周辺の緑地だけでなく住宅地にもツキノワグマやイノシシが出現する。西日本では現実になっている。早急なシステムの構築が必要だと講演しました。

南アルプス 茶臼岳～上河内岳～聖平小屋 (2015 年 8 月 6 日)

平成 27 年 7 月 29 日～31 日、南アルプスの茶臼岳、上河内岳を歩いてきました。天候に恵まれ、お花畑も満開でとても綺麗かったです。



畑薙ダムの大吊り橋から歩き始めました。



ウツッコ沢小屋(無人小屋です)



横窪沢小屋では麦茶をもらいました。



歩き始めて 7 時間、ようやく茶臼小屋が見えてきました。



茶臼岳山頂です。霧がかかって景色は見えません。



茶臼小屋の晩飯はマグロの刺身が出ます。



小屋の周りにはお花畑。タカネマツムシソウが咲いていました。



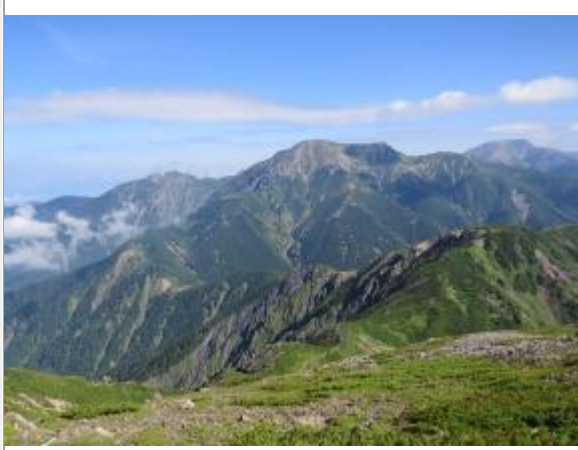
シシウドやトリカブトの仲間が咲いています。



ハイマツの下にウサギギクがひっそり咲いていました。



チシマギキョウ



上河内岳山頂から聖岳、赤石岳を望む。



チョウゲンボウがホバリングしていました。ライチョウの雛を狙っているのか？



ムカゴトラノオの群落



トウヤクリンドウ



チングルマが咲いていました。



タカネゲンナイフウロ

静岡県巨樹と森林文化の会 第24回通常総会開催 (2015年8月3日)

平成27年7月28日13時から静岡市葵区の「クーポール会館」で静岡県巨樹と森林文化の会 第24回通常総会が開催され、当協会からは専務理事が出席し、議事は原案どおり承認されました。また、巨樹・巨木写真コンクール表彰式も併せて行われました。



静岡県巨樹と森林文化の会 第24回通常総会開催を詳しく見る

足場の組立て等の業務に係る特別教育開催 (2015年7月27日)

平成27年7月27日(月) 午後1時30分から静岡県建設業会館で「足場の組立て等の業務に係る特別教育」が開催されました。安全衛生特別教育規程の一部が改正(平成27年3月25日)され、足場の組立て、解体又は変更の作業に係る業務(地上または堅固な床上における補助作業は除く)は特別教育が必要になりました。会員30名が受講しました。



足場の組立て等の業務に係る特別教育開催を詳しく見る

静岡県造園施工管理技士会第30回通常総会 (2015年7月24日)

平成27年7月24日(金)に「呉服町ビル4F 会議室」で標記総会が会員85名(うち委任状58名)が出席し、開催されました。

提出議案

第1号議案 平成26年度事業報告書、収支計算書等承認の件

第2号議案 取引銀行指定の件

第3号議案 役員選任の件

附帯決議案について諮り、質問、意見がないことを確認の上、賛否を問うたところ、賛成拍手多数であることで原案のとおり承認した。

議事終了後、ランドスケープアーキテクチャーの榊原八朗氏が「高齢化に伴い造園が社会に果たす役割について」のテーマで講演した。



望月会長の挨拶



藤浪監事の報告



望月議長が議事を進行



満場一致の拍手で議案はすべて成立



講師の榎原八朗氏



会員は熱心に聴講

[静岡県造園施工管理技士会第30回通常総会を詳しく見る](#)

平成 27 年度第 1 回都市緑化樹木育成講座開催 (2015 年 7 月 13 日)

平成 27 年 7 月 10 日、三島市で都市緑化樹木育成講座(共催の環境ふれあい課では「花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第 1 回講習会」と言っています)を開催しました。講師は千葉大学園芸学部特任助教の細野哲央氏です。テーマは「倒木・落枝事故から学ぶ街路樹のリスクマネジメント」です。県・市町の担当者、さくら保護士、本協会の会員など 34 名が参加しました。ずっと雨続きで天気が心配でしたが、久しぶりに晴れました。しかし、暑かったです。



午前中は三島市民文化会館で座学です。



ポプラの倒伏事故で 8,400 万賠償した例も



午後は楽寿園で実習ですが、まず、虫除けスプレ



鋼棒で地際の腐れを確認



時には、押してみる。



班ごとに分かれて樹木診断し、発表です。

[平成 27 年度第 1 回都市緑化樹木育成講座開催を詳しく見る](#)

特別支援学校緑の保全事業始まる (2015 年 7 月 9 日)

当協会の新規事業「特別支援学校緑の保全事業」が平成 27 年 7 月 8 日、浜松特別支援学校で始まりました。高等部のメンテナンス班の生徒たちと校内の樹木の剪定作業を行いました。指導をしたのは西部支部長の(有)永井造園の永井さん、(株)江間種苗園の江間さん、(株)三宝園の田旗さんです。慣れない剪定ハサミや刈り込みハサミの作業で最初はとまどっていましたが、次第にペースが上がり、予定した箇所はすべてできました。今年度はあと

2回を予定しています。また、東部支部では沼津特別支援学校、中部支部では静岡北特別支援学校でも実施します。



始めに永井支部長が挨拶と注意事項



大きな刈り込み鋏で剪定



ハマヒサカキの太い枝もチョッキンチョッキン



切った枝を片付けて終了

[特別支援学校緑の保全事業始まるを詳しく見る](#)

当協会の平成 27 年度第 2 回理事会を開催しました (2015 年 6 月 15 日)

平成 27 年 6 月 10 日、静岡市葵区の呉服町ビル会議室で、平成 27 年度第 2 回の理事会を開きました。議題は、会員の減及び受託事業の減にともなう補正予算、日本造園建設業協会(日造協)の事務についてです。補正予算は、一部、修正することになりました。また、日造協とは事務統合のための覚書を結ぶことになりました。議事録、資料など詳細は会員専用ページに掲載します。

[当協会の平成 27 年度第 2 回理事会を開催しましたを詳しく見る](#)

平成 27 年度静岡県さくらの会第 50 回通常総会 (2015 年 6 月 9 日)

平成 27 年 6 月 9 日、県庁別館 7 階会議室において、平成 27 年度静岡県さくらの会第 50 回通常総会が開催されました。議事に先立ち、焼津市の「やきつべ桜の里をつくる会」が平成 27 年度さくら功労者として、浜松市の山下克子様、伊東市の遠藤泰弘様、伊東市の筒井章様が特選を受賞されました。議事は原案のとおり承認されました。



挨拶する副会長のグリーンバンク高木専務



さくら写真コンクール最優秀賞の山下克子さん

[平成 27 年度静岡県さくらの会第 50 回通常総会を詳しく見る](#)

平成 27 年度森林・林業研究センター 研究成果発表会 (2015 年 6 月 8 日)

平成 27 年 6 月 5 日に静岡県農林技術研究所森林・林業研究センターで平成 27 年度研究成果発表会が開催されました。当協会は静岡県森林・林業研究センター振興協議会のメンバーです。

発表会では「森林・林業再生を加速する静岡型エリートツリーによる次世代省力造林技術の開発」、「イノシシと戦う集落づくりと森林づくりに必要なシカ管理に関する研究」、「森林の都」を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発」について、研究員から発表されました。



発表会の会場 森林組合など林業関係者が集まった。



青島センター長の挨拶

[平成 27 年度森林・林業研究センター 研究成果発表会を詳しく見る](#)

(一社)静岡県建設産業団体連合会 平成 27 年度定時総会 (2015 年 6 月 1 日)

平成 27 年 5 月 29 日に静岡市産学交流センター(ペガサート)で(一社)静岡県建設産業団体連合会 平成 27 年度定時総会が開催され、高林会長が出席しました。議事の前に会長表彰があり、当協会からは(有)正翠園の木村正昭氏、源平造園建設(株)の源平 太氏が受賞しました。議事はすべて承認されました。



総会会場(ペガサート6階)



小野副会長の開会のことば



木内会長挨拶



受賞者の正翠園の木村正昭氏



受賞者の源平造園建設の源平 太(代理 源平剛士氏)



来賓の深谷交通基盤部長部長代理の祝辞

[\(一社\)静岡県建設産業団体連合会 平成27年度定時総会を詳しく見る](#)

残雪の茶臼岳、光岳 (2015年5月29日)

平成27年5月22日から26日にかけて、畑薙第一ダムから入り茶臼岳、仁田岳、光岳を歩いてきました。標高2,200m以上には雪が残り、登山路には倒木が多く、普段の1.5倍くらい時間を要しました。お目当てのライチョウは茶臼岳では未標識の個体を捕獲・標識できました。光岳では冬糞や羽毛など痕跡は見つきましたが、姿は確認できませんでした。茶臼岳ではクモイコザクラの群落を見つけることができました。



横窪沢小屋の前にはウワミズザクラが咲いていました。



茶臼小屋近くではクモイコザクラの群落を見つけました。



茶臼小屋から稜線にかけては雪渓が続いています。朝は凍っていて、アイゼンなしでは怖いです。



茶臼岳山頂の少し南にいたライチョウの雌です。



光岳のセンジヶ原にあったライチョウの冬糞です。おそらく、ねぐら跡でしょう。



ウソッコ沢小屋の上の中の間あたりでは、ヤマツツジが見ごろでした。

残雪の茶臼岳、光岳を詳しく見る

麻機遊水地クリーン作戦 (2015年5月18日)

平成27年5月16日(土)、静岡市葵区の麻機遊水地でクリーン作戦が開催されたので、当協会の中部支部会員と事務局が参加しました。当日は、朝方まで雨が降っていましたが、開始時刻には止んで予定通り実施できました。

一見、池の周りは綺麗に見えましたが、よく探すと、たばこの吸い殻、コンビニおにぎりの包装紙、ペットボトル、缶コーヒーの空き缶などが見つかりました。



開会式 挨拶は後藤会長



静岡市環境創造課からオオキンケイギクやオオフサモなど外来種の説明



参加者はゴミ袋とペット入りお茶をもらって出発



事前に刈り取られた草を袋に詰める参加者



当日の分担表



閉会式

[麻機遊水地クリーン作戦を詳しく見る](#)

公益社団法人 静岡県造園緑化協会 平成 27 年度定時総会 (2015 年 5 月 18 日)

平成 27 年 5 月 15 日、静岡市葵区のグランディエールブクトーカイで公益社団法人静岡県造園緑化協会平成 27 年度定時総会を開催しました。静岡県暮らし・環境部長池谷廣氏をはじめ 10 名のご来賓を迎え、会員 65 名の出席

により第1号議案「平成26年度事業報告及び財務諸表等の承認」、第2号議案「平成27年度入会金及び年会費の額並びに納入方法の決定」の2件は承認されました。
 定時総会資料は[こちら](#)です。



ご来賓の方々



赤池副会長の開会のことば



高林会長挨拶



会長表彰を受けた方々



池谷くらし・環境部長祝辞



櫻井副会長 閉会のことば

[公益社団法人 静岡県造園緑化協会 平成27年度定時総会を詳しく見る](#)

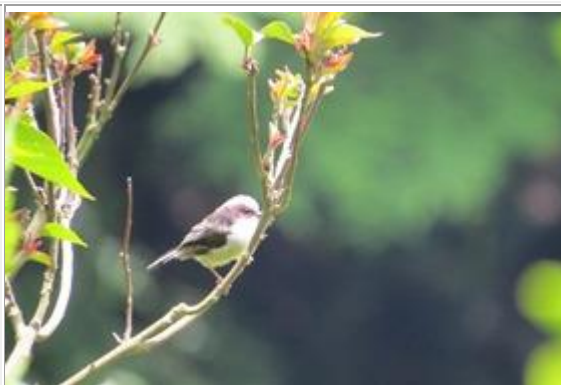
安倍川駅～朝鮮岩～満観峰～花沢山～簡保の宿～焼津駅 (2015年5月7日)

平成27年5月5日、JR安倍川駅から歩きはじめ、小野寺、朝鮮岩を經由して、満観峰に登り、日本坂峠に下って、花沢山に登り、簡保の宿を通過して、JR焼津駅まで歩きました。当日は、薄日が差す曇りで、暑からず、寒から

ず快適なハイキングでした。オオルリやキビタキ、クロツグミなど夏鳥がさえずり、留鳥のメジロ、ウグイス、イカルも負けじと鳴いていて、なかなか賑やかでした。



暗い林の中にホウチャクソウが咲いていました。



今年生まれの幼鳥のエナガがいました。



ナルコユリも綺麗です。



茶畑の耕作放棄地が、また、増えました。



ヤマツツジが咲いています。



満観峰の山頂はハイカーで混雑しています。

安倍川駅～朝鮮岩～満観峰～花沢山～簡保の宿～焼津駅を詳しく見る

藤枝市の蓮華寺池公園 藤まつり (2015年4月27日)

平成27年4月18日、藤枝市の蓮華寺池公園の藤を見に行きました。まだ、フジは少し早かったですが、八重桜が見ごろで、シャクナゲも様々な色の花を咲かせていました。4月26日に改めて行ったところ、フジも見ごろになっていました。



古墳の広場ではウラシマソウが咲いていました。



西洋シャクナゲも見ごろですが、山に植えるには花の色が少し派手過ぎのような気がします。



フジの花は少し早かったです。八重桜は見頃です。



様々な色の新緑が目を楽しませてくれます。



たくさんの方が訪れていました。ただし、普段は無料の駐車場が藤まつりの期間は500円です。



4月26日は、花序が伸びて見ごろになっていました。

藤枝市の蓮華寺池公園 藤まつりを詳しく見る

巨樹探訪会 (2015年4月23日)

平成27年4月22日、静岡県巨樹と森林文化の会の巨樹探訪会に参加してきました。山梨県北杜市の「山高の神代桜」、「神田の大系桜」、「鳥久保のサイカチ」、韮崎市の「わに塚の桜」、甲斐市の「信玄堤のケヤキ林」の5

カ所とサントリーの白州工場の見学でした。桜はいずれもエドヒガンザクラなので花は残念ながら、終わっていました。しかし、見る人もいなく、渋滞することはありませんでした。



推定樹齢 1800～2000 年の「山高の神代桜」は国指定の天然記念物で日本三大桜のひとつだそうです。しかし、支柱がまるで松葉杖のように見えて、痛々しかったです。



サントリーの白州工場では天然水のボトル詰め作業を見学しました。構内にシュンランが咲いていました。ほかに、カタクリの花もありました。



「神田の大糸桜」は樹齢 400 年、県指定天然記念物です。エドヒガンザクラの変種で枝垂れです。背後に見えるのは八ヶ岳です。



「鳥久保のサイカチ」は田舎道の四つ角にひょっこり立っています。樹齢 410 年です。サイカチはマメ科のジャケツイバラの仲間なので鋭い棘が生えていました。



「わに塚の桜」は推定樹齢 300 年で田んぼの中に立つ



信玄堤のケヤキは最大樹高 28m の巨木群です。延長

ています。樹勢も良く、樹形も美しく、花の時期には是非、再訪したいと思いました。

2km、約 20ha にわたって広がっています。伸び伸びと自然樹形に育ったケヤキ林は必見だと思います。

[巨樹探訪会を詳しく見る](#)

当協会の平成 27 年度第 1 回理事会を開催しました (2015 年 4 月 16 日)

平成 27 年 4 月 16 日に静岡市葵区の呉服町ビル会議室で、公益社団法人静岡県造園緑化協会の平成 27 年度第 1 回理事会を開催しました。

議事録及び平成 27 年度定時総会資料は会員専用ページに掲載したのでご覧ください。

[当協会の平成 27 年度第 1 回理事会を開催しましたを詳しく見る](#)

静岡県造園施工管理技士会視察研修 (2015 年 4 月 14 日)

平成 27 年 4 月 11 日、静岡県造園施工管理技士会の視察研修で東京都にある「大手町の森」、「二子玉川公園」、「五島美術館」の庭園を視察してきました。年度初めにも関わらず、15 社、23 名が参加しました。

「大手町の森」

東京都千代田区大手町 1 丁目 5 番 5 号 大手町タワー

本物を持ってきたと言われる森です。木々は整然と並ぶのではなく、ランダムに立ち並んでいます。われわれが知る「緑化」とはも違って見えます。一風変わった都市緑化のひとつという程度にとどまるものではありません。新たな都市緑化の可能性を感じました。地被類の種類が豊富で、ニリンソウ、イカリソウ、ヤマブキソウなどの花が咲いていました。写真撮影は禁止されているので、外からの写真だけです。

「二子玉川公園」中の日本庭園の帰真園

東京都世田谷区玉川 1-16-1

帰真園という名称には、自然に回帰するという意味が含まれています。この庭園は、日本古来の優れた空間文化を人々に伝えていくことを主題に作庭された、世田谷区立初の回遊式日本庭園です。約 5,800 m²の庭園は、多摩川の源流から本流まで、そして国分寺崖線のみどり豊かな丘陵と武蔵野の風景を表現した空間(縮景)となっています。庭園内は、誰もが快適に散策を楽しめるようユニバーサルデザインを基調とした施設づくりを随所に行っております。まだ、新しい公園なので支柱が目立ち、数年後が楽しみです。

「五島美術館」

東京都世田谷区上野毛 3-9-25

武蔵野の雑木林が多摩川に向かって深く傾斜する庭園には、「大日如来」や「六地藏」など伊豆や長野の鉄道事業の際に引き取った石仏が点在し、「上野毛のコブシ」(東京都指定天然記念物)やツツジ、枝垂桜など、季節ごとに多彩な花を咲かせます。コブシには遅く、ツツジには早いという時期でしたが、モミジの新緑が綺麗でした。



コンセプトが説明されています。館内にも詳しい案内がありました。



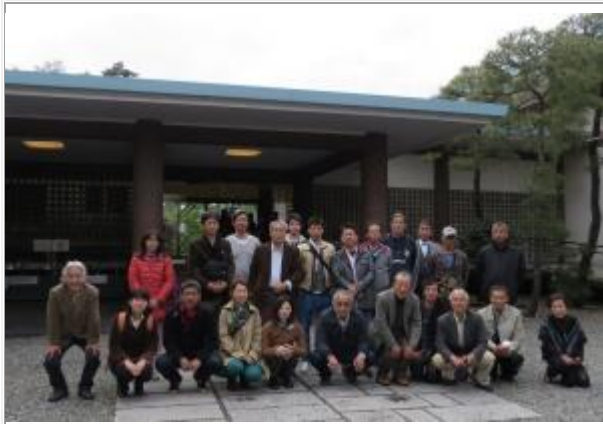
緑道として、街路樹と繋がっています。



回遊式日本庭園の帰真園、大きな石がたくさん使われていました。



日本庭園の隣には遊具があります。また、その向こうにはグラウンドがあります。



五島美術館の玄関前で記念撮影



イロハモミジの新緑とノムラモミジに赤が綺麗でした。

[静岡県造園施工管理技士会視察研修を詳しく見る](#)

森づくり県民大作戦 (2015年4月8日)

森林の手入れや草刈り、植樹など、森林を守り育てるイベントから、木工クラフト、森林散策など森林や森林資源を活かして楽しむものまで、さまざまな森林イベントが県内各地で開催されます。

詳しいことは[こちら](#)をご覧ください。

[森づくり県民大作戦を詳しく見る](#)

未来の森づくりタウンミーティング (2015 年 4 月 6 日)

県では、平成 18 年度から、県民の皆様の御理解とご協力により、森林づくり県民税を財源に森の力再生事業を推進し、荒廃森林の再生に取り組んできました。

10 年間の計画の 9 年目を終えた現在、全体計画 12,300ha の約 9 割の整備を終えるなど、事業は順調に進んでおりますが、近年、頻発する集中豪雨やシカ等による食害の深刻化、放置された竹林の拡大など新たな課題も生じています。

このため、これまでの事業の成果や荒廃森林の状況をお伝えするとともに、今後の森の力再生事業のあり方について御意見を伺うため、タウンミーティングを県下各地で開催します。

詳しいことは[こちら](#)をご覧ください。

[未来の森づくりタウンミーティングを詳しく見る](#)

吉田公園 チューリップまつり (2015 年 4 月 1 日)

平成 27 年 3 月 28 日、榛原郡吉田町の県営吉田公園のチューリップまつりを見てきました。当日はオープニングセレモニーもあって、大変な賑わいでした。チューリップは満開ではなく、6 分咲きくらいでしたが、色んな品種が楽しめました。



色々な食べ物屋さんが出ていて、昼時は行列ができていました。



花壇の広場には様々な団体がアイデア豊富な花壇を展示しています。



チューリップ以外にもアイランドポピーなど春の花が咲き誇っています。



原種のチューリップだそうです。



なかなかボリューム感のあるチューリップ花壇です。



品種により、色や形の変化があります。

[吉田公園 チューリップまつりを詳しく見る](#)